

平成13（2001年）3月

せり種

(*Oenanthе javanica* (Blume) DC.)

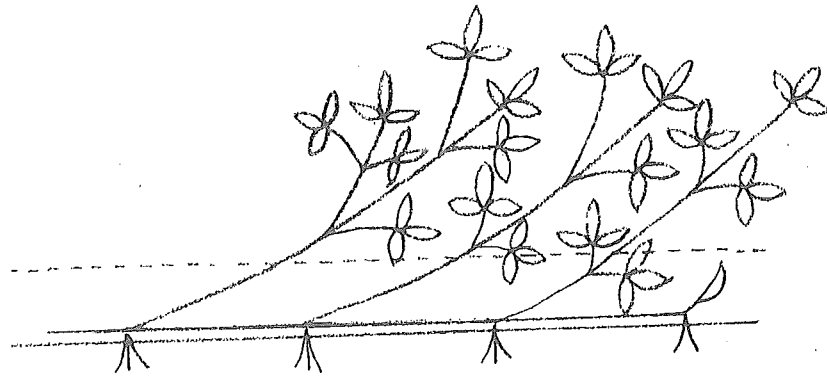
4 特性審査基準

重要な 形質	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備 考
草 姿	1 草 姿	収穫期の株形	観察 図 1	立性 中間 開張性	3 5 7	大分、島根 茨城、三関 京都、亀岡	
	2 草 丈	同上期の最大葉の 地際より葉の頂端 までの長さ	測定 図 2	低 中 高	3 5 7	茨城 京都、三関、大分 島根、亀岡	
	3 ランナー の発生の早 晩	ランナーの発生時 期の早晩	観察	早 中 晩	3 5 7	京都、島根 大分、茨城 三関、亀岡	
	4 ランナー の発生の多 少	ランナーの発生程 度	観察	少 中 多	3 5 7	三関 京都、島根、亀岡 茨城、大分	
	5 ランナー の伸び方	ランナーの匍匐性	観察 図 3	立性 中間 開張性	3 5 7	大分、島根 茨城、亀岡 京都、三関	
	6 収穫時茎 径	収穫期の茎基部の 太さ	測定	細 中 太	3 5 7	亀岡 京都、茨城、三関 島根、大分	
	7 収穫時節 数	同上時の最大葉の 節数	測定	少 中 多	3 5 7	京都 島根、大分、三関、亀岡 茨城	
	8 開花時茎 長	開花時の茎長	測定 図 4	低 中 高	3 5 7	島根、三関 大分、茨城、亀岡 京都	
	9 開花時節 数	開花時の花から 基部までの節数	測定	少 中 多	3 5 7	大分、島根、三関 京都 茨城、亀岡	
葉の形 状	10 葉 数	収穫期の葉数	測定	少 中 多	3 5 7	三関 京都、島根、茨城 大分、亀岡	

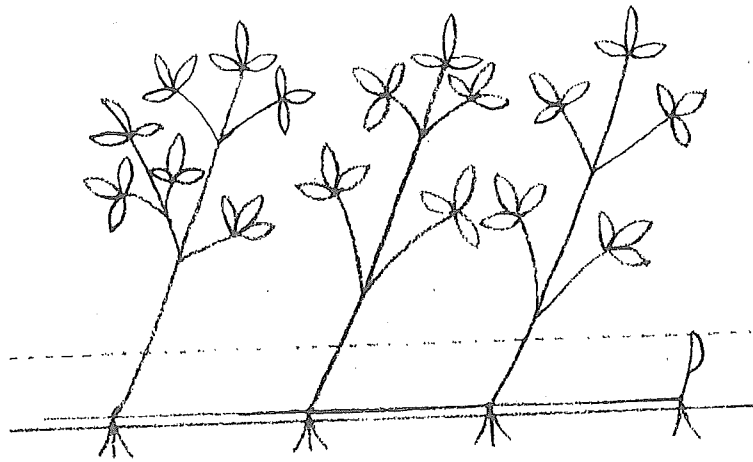
重要な 形質	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備 考
	11小葉数	収穫期の小葉数	測定	少 中 多	3 5 7	京都、三関 大分、島根、茨城 亀岡	
	12葉 色	同上期の葉色	観察	淡緑 緑 濃緑	3 5 7	京都、島根、大分、亀岡 三関 茨城	
	13欠刻の深 さ	同上期の頂小葉の 欠刻の深さ	観察 図 5	浅 中 深	3 5 7	大分 島根、茨城、三関 京都、亀岡	
	14欠刻の多 少	同上期の頂小葉の 欠刻の多少	観察 図 6	少 中 多	3 5 7	茨城、亀岡 島根、大分、三関 京都	
	15頂小葉の 大きさ	同上期の頂小葉の 大きさ	観察	小 中 大	3 5 7	茨城、亀岡 京都、島根、大分 三関	
	16小葉の着 生角度	同上期の頂小葉と 小葉の角度	観察 図 7	狭 中 広	3 5 7	京都、亀岡 大分、島根、茨城 三関	
	17アントシ アンの発生 程度	同上期の小葉での 発生程度	観察 写真 2	無 少 中 多	1 3 5 7	大分 京都、島根、三関 茨城、亀岡	株全体を 観察
葉柄の 形状	18葉柄の太 さ	同上期の最大葉の 葉柄基部の太さ	計測 図 2	細 中 太	3 5 7	島根、亀岡 京都、茨城、三関 大分	
	19葉柄の長 さ	同上期の最大葉の 葉柄の長さ	計測 図 2	短 中 長	3 5 7	島根、三関 亀岡 茨城、大分、京都	
	20葉柄の色	同上期の最大葉の 葉柄の色	観察	淡緑 緑 濃緑	3 5 7	茨城 京都、大分、三関、亀岡 島根	
	21葉柄のア ントシア ンの程度	同上期の最大葉の 葉柄のアントシア ンの程度	観察 写真 3	無 少 中 多	1 3 5 7	京都、大分、島根、三関、亀岡 茨城	

重要な 形質	形 質	定 義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備 考
	22葉柄の硬 さ	収穫期の最大葉の 葉柄の硬さ	計測 図 8	軟 中 硬	3 5 7	大分、茨城 島根、三関、京都 亀岡	
根の形 状	23太さ	同上期の地際部の 根の太さ	計測	細 中 太	3 5 7	亀岡 大分、島根、三関 京都、茨城	
抽だい 性	24早晩性	抽だいの早晩性	観察	早 中 晩	3 5 7	亀岡 京都、島根、大分、茨城 三関	
花	25花 色	開花時の花の色	観察	白 淡桃色	1 2	京都、島根、大分、茨城、三関 亀岡	
早晩性	26収穫の早 晩性	草丈30cm以上にな る時期	観察	早 中 晩	3 5 7	京都 大分、島根、茨城、亀岡 三関	
萌芽程 度	27萌芽の早 さ	催芽床での萌芽の 早さ	観察	早 中 遅	3 5 7	茨城、京都 島根、大分 三関、亀岡	
	28萌芽の多 少	催芽床での萌芽の 多少	観察	少 中 多	3 5 7	三関、亀岡 京都、島根 茨城、大分	
耐低温 性	29耐低温性	冬期、葉先の低温 障害の発生程度	観察 写真 4	弱 中 強	3 5 7	大分 島根、茨城 京都、三関、亀岡	
品質	30香り	葉柄部の香り	観察	弱 中 強	3 5 7	大分、島根 三関 京都、茨城、亀岡	葉柄を切 断した時 の香り
病害抵 抗性	31病害抵抗 性	さび病の発生程度	観察	弱 中 強	3 5 7	大分 京都、島根、茨城、三関、亀岡	
虫害抵 抗性	32虫害抵抗 性	アブラムシの発生 頭数による評価	観察	弱 中 強	3 5 7	京都、大分、島根、茨城、三関 亀岡	

(2) 参考図



開張性



立性

図1 草姿：(形質1)

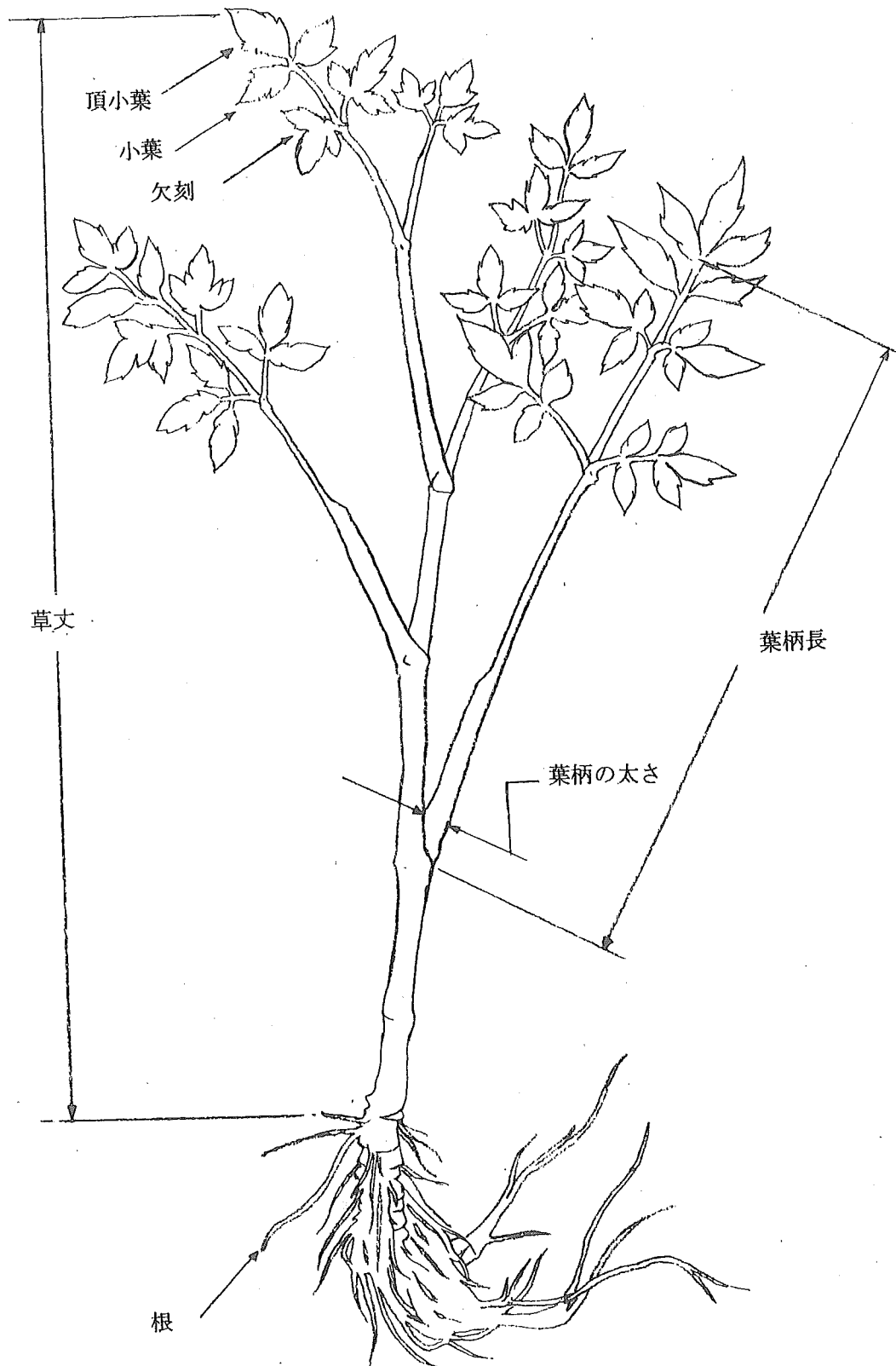
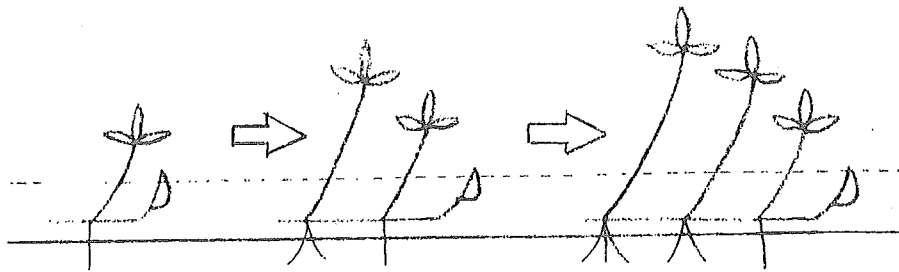
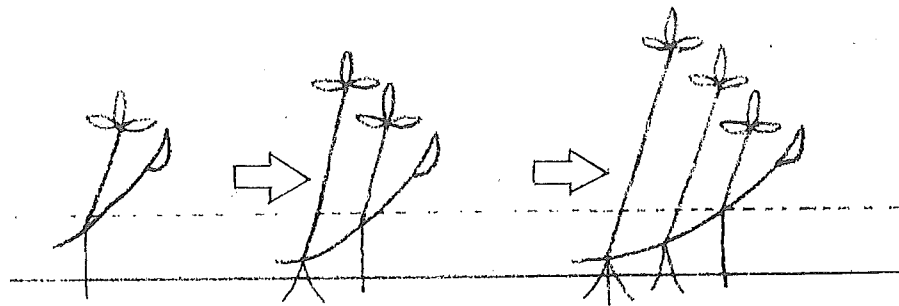


図2 草丈、葉柄長、葉柄の太さ (形質2、18、19)



匍匐性



立性

図3 ランナーの伸び方(形質5)

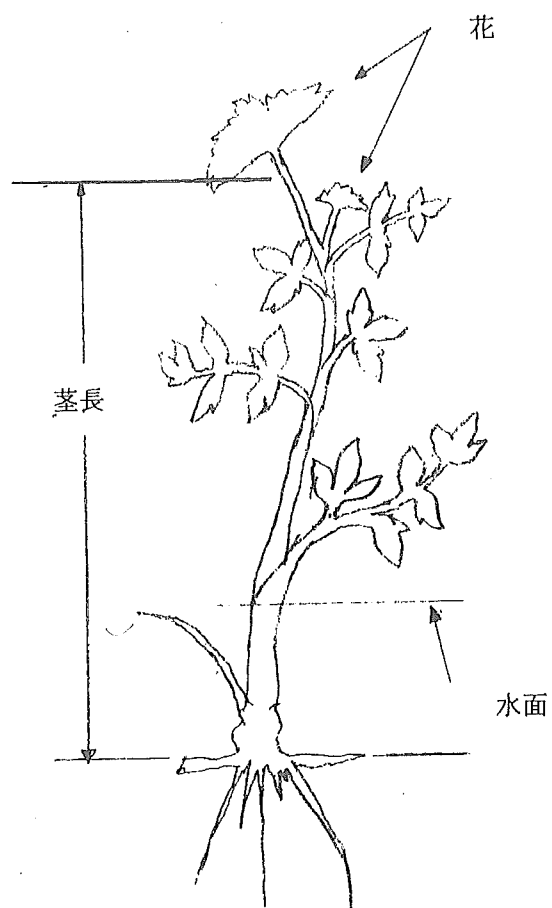


圖4 開花時莖長(形質8)

欠刻

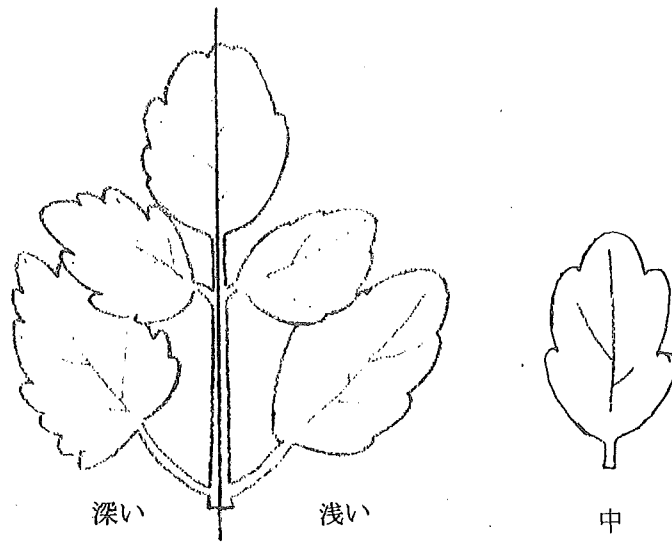


図5 欠刻の深さ(形質13)

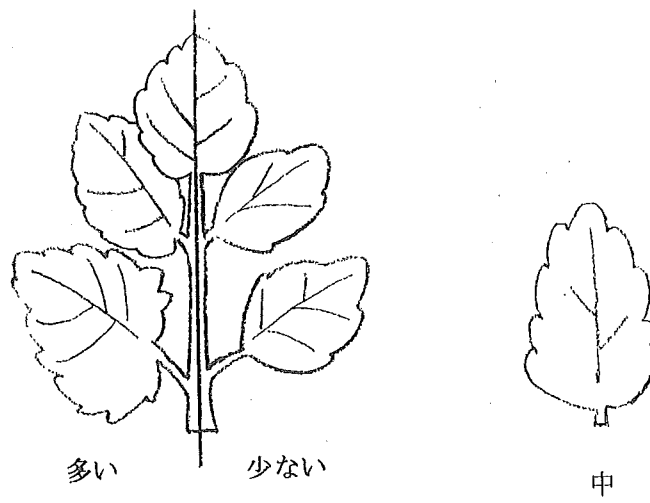


図6 欠刻の多少(形質14)

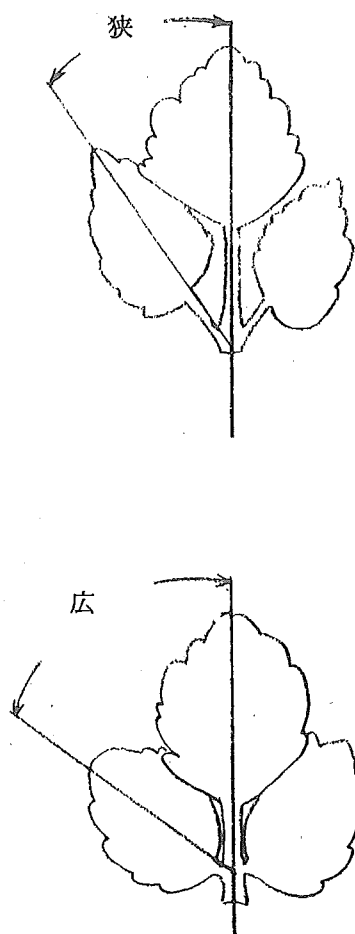


図7 小葉の着生角度(形質16)

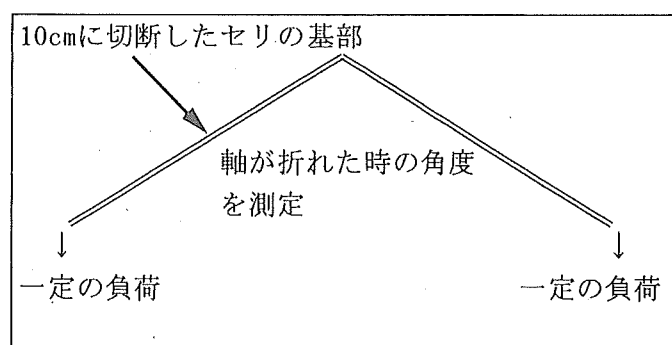


図7 基部の硬さの測定方法

5 CHARACTERISTICS TABLE

Section of plant:Vegetable

Kind of plant:Seri (*Oenanthe javanica* DC.)

Characteristics	States	Note	Exsample varieties
(Growth habit)			
1. Growth habit of harvesting time	erect	3	Ooita, Shimane
	semi-erect	5	Ibaragi, Mitsuzeki
	spreading	7	Kyoto, Kameoka
2. Muximum leaf hight of harvesting time	short	3	Ibaragi
	medium	5	Kyoto, Mitsuzeki, Ooita
	tall	7	Shimane, Kameoka
3. Time of Runner development	early	3	Kyoto, Shimane
	medium	5	Ooita, Ibaragi
	late	7	Mitsuzeki, Kameoka
4. Number of Runner	few	3	Mitsuzeki
	medium	5	Kyoto, Shimane, Kameoka
	many	7	Ibaragi, Ooita
5. Growth habit of Runner	erect	3	Ooita, Shimane
	semi-erect	5	Ibaragi, Kameoka
	spreading	7	Kyoto, Mitsuzeki
6. Shoot hight of flowering time	short	3	Shimane, Mitsuzeki
	medium	5	Ooita, Ibaragi, Kameoka
	tall	7	Kyoto
7. Shoot wideth of harvesting time	thin	3	Kameoka
	medium	5	Kyoto, Ibaragi, Mitsuzeki
	thick	7	Shimane, Ooita
8. Muximum leaf Node number of flowering time	absent	3	Kyoto
	medium	5	Shimane, Ooita, Mitsuzeki, Kameoka
	high	7	Ibaragi
9. Node number of flowering time	absent	3	Ooita, Shimane, Mitsuzeki
	medium	5	Kyoto
	high	7	Ibaragi, kameoka
(Leaf)			
10. Number	few	3	Mitsuzeki
	medium	5	Kyoto, Shimane, Ibaragi
	many	7	Ooita, kameoka

(Leaf)			
11. Sheath leaf number	few	3	Kyoto, Mitsuzeki
	medium	5	Ooita, Shimane, Ibaragi
	many	7	Kameoka
12. Color	pale green	3	Kyoto, Shimane, Ooita, Kameoka
	green	5	Mitsuzeki
	dark green	7	Ibaragi
13. Depth of margin sinus	shallow	3	Ooita
	medium	5	Shimane, Ibaragi, Mitsuzeki
	deep	7	Kyoto, Kameoka
14. Number of margin sinus	few	3	Ibaragi, Kameoka
	medium	5	Shimane, Ooita, Mitsuzeki
	many	7	Kyoto
15. Size of top sheath leaf	small	3	Ibaragi, Kameoka
	medium	5	Kyoto, Shimane, Ooita
	large	7	Mitsuzeki
16. Angle of top sheath leaf	narrow	3	Kyoto, Kameoka
	medium	5	Ooita, Shimane, Ibaragi
	wide	7	Mitsuzeki
17. Degree Anthocyan coloration	no	1	Ooita
	few	3	
	medium	5	Kyoto, Shimane, Mitsuzeki
	much	7	Ibaragi, Kameoka
(Petiole)			
18. Width	thin	3	Shimane, Kameoka
	medium	5	Kyoto, Ibaragi, Mitsuzeki
	thick	7	Ooita
19. Length	short	3	Shimane, Mitsuzeki
	medium	5	Kameoka
	long	7	Ibaragi, Ooita, Kyoto
20. Color	pale green	3	Ibaragi
	green	5	Kyoto, Ooita, Mitsuzeki, Kameoka
	dark green	7	Shimane
21. Degree Anthocyan coloration	no	1	Kyoto, Ooita, Shimane, Mitsuzeki, Kameoka
	few	3	
	medium	5	Ibaragi
	much	7	

(Petiole)			
22. Hardness	tender	3	Ooita, Ibaragi
	medium	5	Shimane, Mitsuzeki, Kyoto
	hard	7	Kameoka
(Root)			
23. Thickness	thin	3	Kameoka
	medium	5	Ooita, Shimane, Mitsuzeki
	thick	7	Kyoto, Ibaragi
(Flower)			
24. Flower stalk development	early	3	Kameoka
	medium	5	Kyoto, Shimane, Ooita, Ibaragi
	late	7	Mitsuzeki
25. Color	white	1	Kyoto, Shimane, Ooita, Ibaragi, Mitsuzeki
	pale pink	2	Kameoka
(Harvesting time)			
26. Harvesting time	early	3	Kyoto
	medium	5	Ooita, Shimane, Ibaragi, Kameoka
	late	7	Mitsuzeki
(Sapling at nursery)			
27. Date of germinating	early	3	Ibaragi, Kyoto
	medium	5	Shimane, Ooita
	late	7	Mitsuzeki, Kameoka
28. Germination percentage	few	3	Mitsuzeki, Kameoka
	medium	5	Kyoto, Shimane
	many	7	Ibaragi, Ooita
(Ecological character)			
29. Cole hardness	weak	3	Ooita
	medium	5	Shimane, Ibaragi
	strong	7	Kyoto, Mitsuzeki, Kameoka
(Fragrance)			
30. Fragrance	faintly	3	Ooita, Shimane
	medium	5	Mitsuzeki
	strong	7	Kyoto, Ibaragi, Kameoka
(Resistans)			
31. Disease resistance to Puccina oenanthos-stoio -nifeae	weak	3	
	medium	5	Ooita
	storong	7	Kyoto, Ibaragi, Shimane, Mitsuzeki, kameoka
32. Pest resistance to aphid	weak	3	
	medium	5	Kyoto, Ooita, Shimane, Ibaragi, Mitsuzeki
	strong	7	Kameoka

6 特性検定のための栽培試験方法

(1) 栽培試験概要

栽培条件：湛水状態、露地栽培

定植時期：9月下旬

苗の調整：9月中旬から蒸し込みを行い発酵させる。

植付間隔：5 cm×5 cm

施肥 (kg/10a)

	N	P	K
基肥	26	25	29
追肥	2		

病害虫防除：アブラムシ エカチンTD 5kg/10a

黒葉枯病 ダコニール1000 1000倍

さび病 ジマンダイセン 600倍

作業手順

日 時	作業内容
9月中旬	種ぜりを収穫し、根を除去して蒸し混みを行う。蒸し混みはセリが十分に湿りを保持している状態で積み、むしろで被覆した後、毎日、むしろの上からかん水を行う(写真5)。
9月中旬	施肥(別記)
9月下旬	蒸し混みで十分発酵し、親葉は原型をとどめていないが、節から新芽が伸長してくるので、この時期に本田にばらまく。葉柄部が腐らず繋がったままならば、約5 cm位に裁断する。苗の播く量は苗が流れないように混む程度が適当である(写真6)。この時期は浅水(深度5 cm)、湛水で管理する。
10月上旬	苗が活着したら、浅水で流水管理を行う。
10月中旬	徐々に深水にしていく。草丈の半分が水没する程度が適当である。 さび病、アブラムシの防除(別記)
11月上旬	葉色が薄いようなら追肥(別表)。追肥施用後1日だけ湛水。
11月中旬	収穫開始
1月上旬	倒し込みを開始する。
2月中旬	親株を選定し、種ぜりとして仮殖床に移植する。
2月下旬	収穫終了
6月下旬	アブラムシの防除(以降も発生した時、随時行う。)

(2) 供試個体数

1区 100株/1m²、2反復

流水管理を行うので苗が他区に流れないように、区分けを土中まで網で区切る。